

- 1 報告地区 : 根室地区
- 2 事例報告学校名 : 中標津町立俵橋小学校
- 3 報告者 : 校長 中原 英雄
- 4 キーワード : 自ら学ぶ力を高め地域をつなぐ、学校全体のNIE実践

1 はじめに

全校児童15名のへき地複式小規模校である。平成27年度よりNIE実践校となり、全校が一つになって新聞を使った教育活動を推進してきた。新聞の活用や発行を繰り返しながら基礎的な学力やコミュニケーション能力の向上を図ることや、地域のよさとふれ合うことによりふるさとの素晴らしさを実感させ、人との関わりの中で自尊感情を高めていくことを目指して取組を行っている。また、横断的な学習を重視し、様々な学びを活用しながらNIEを実践している。

2 自ら学ぶ力を高め、地域をつなぐNIEの具体的な取組

NIE実践を始めるにあたり、「全学級、全職員が実践する」「年間を通して継続的に実践する」「全教育活動で実践する」という「3つの挑戦」を掲げている。学校の経営方針にもNIEの充実が示され、校内の研究内容にも組み込まれている。

学校経営の基本方針 【NIE実践校としての取り組み方】

新聞製作学習～全学級で年間を通して作り続ける。回を追うごとに内容や表現の向上を図る。

新聞活用学習～授業だけにとどまらず、教育活動全体を使って活用する。学校だけでなく、家庭での取組や親子が協力する取組を進める。

新聞機能学習～新聞のよさを生かして積極的に関わる。進んで挑戦、発信し人と関わるきっかけを作る。

研究仮説より

NIEにおいて、地域の教育資源を活用したり各教科で身に付けたことを活用したりしながら思考力・判断力・表現力を高めることによって、意欲的・主体的に学習する子どもが育つだろう。

(1) 新聞作り学習

新聞作り学習は全ての学級で実践している。低学年、中学年は生活科見学や社会見学、牛学習などの学校行事をもとにして作成して壁新聞にまとめている。さらに作成した新聞を総合文化会館や、学習でお世話になった郵便局、児童館、保育所に掲示してもらい、町民から多くの心温まるコメントもいただいている。発行した新聞に対して多くの意見や感想をもらうことにより目的意識や相手意識も育ち始め、よりよいものにしたいという意欲が生まれ始めた。

高学年では総合的な学習の時間を中心に作成した。「ふるさと」のよさを見つけるために取材を重ねて新聞を発行し地域に配布した。新聞を通して地域を知り、自信や誇りが育っている。



(2) 新聞を活用する学習

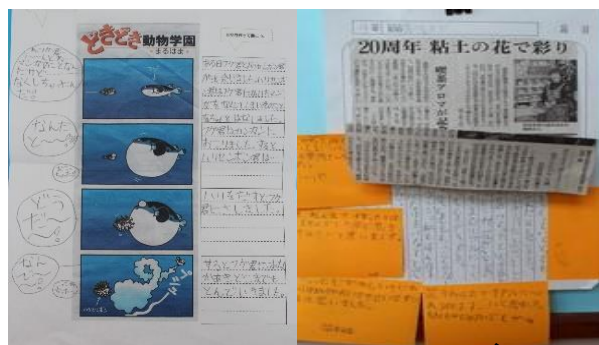
全国紙4誌と地方紙2誌が定期的に届くので、新聞を通して社会的な事象に興味・関心を高めようと新聞を活用した学習に取り組んでいる。

「新聞スクラップ」は朝の学習と家庭学習を連動させている。

①新聞を読み、興味のある記事を選んで切り取る。②それを台紙に貼る。③家庭学習で記事に対してコメントを書く（読めないときは保護者に手伝ってもらう）。④次の日の朝の学習で友だちのスクラップを読み合ってコメント書き合う。という本校なりの形ができあがった。また、同一の記事について上記の方法で取り組み、考え方や感じ方の違いを明らかにする実践も生まれた。

「新聞クイズ」は掲示板に新聞クイズが掲示され、休み時間を使って全校児童が取り組んでいる。新聞記事を読み、分からない言葉は辞書を活用しながら解いている。児童委員会でも「新聞クイズ」が発行され、クイズを作ったり解いたりしながら文章を読む力を高めている。

その他、「四コマ漫画作文」や「写真吹き出し」など本校独自の実践も生まれ、各教科でも様々な形で有効活用してる。



吹き出しと物語が記述されています。

友だちのコメントが貼られたスクラップ。

(3) 新聞の機能を活かす学習

新聞社への投稿、新聞社の出前授業の活用、新聞工場見学などを実施している。様々な人から学ぶ機会や経験は小さな学校の児童にとって貴重であり、新鮮な学びがある。これまで「取材の仕方」「スクラップ新聞の作り方」「まわし読み新聞の作り方」などの出前講座を活用し、新たな学びを重ねてきた。また、作文や川柳などの投稿も行っており、掲載された児童は多くの人から褒められることで大きな自信につながっている。

さらに本校は新聞が配達されない地域なので、すぐに手に取れるように廊下には各社の新聞が並べられている。また同じ事柄あっても表現の仕方が違うことを示す掲示も行い、メディアリテラシーの醸成に努めている。



1～6年生が縦割りで「まわし読み新聞」を作成しています。

3 おわりに

(1) 実践の成果

- ・社会的な事象に関心をもつようになり、自ら興味のある記事を選んで読むようになった。また、スクラップ学習を通して家で親と記事について話すようになり、家庭での交流が増えた。
- ・新聞作り学習ではゴールが明確なので、主体的に学ぶ姿勢が生まれ、達成感が学習の意欲を生んでいる。また、完成した新聞に対して多くの方からコメントをもらい、喜びや嬉しさから自信が生まれ、自尊感情が高まった。
- ・地域に飛び出し、取材を通して人や産業に触れ、地域に対しての誇りが生まれた。

(2) 今後の課題

NIEは総合的・横断的な教育活動であり、多くの学びをつなげることができる。ただし、多様な活動に発展するため、時間的、空間的に広がりすぎる課題がある。今後も「全員で」「年間を通して」「全教育活動の中で」という方向性を維持していくためには、「無理せず」「実態に応じて」「計画的に」実践していく必要がある。